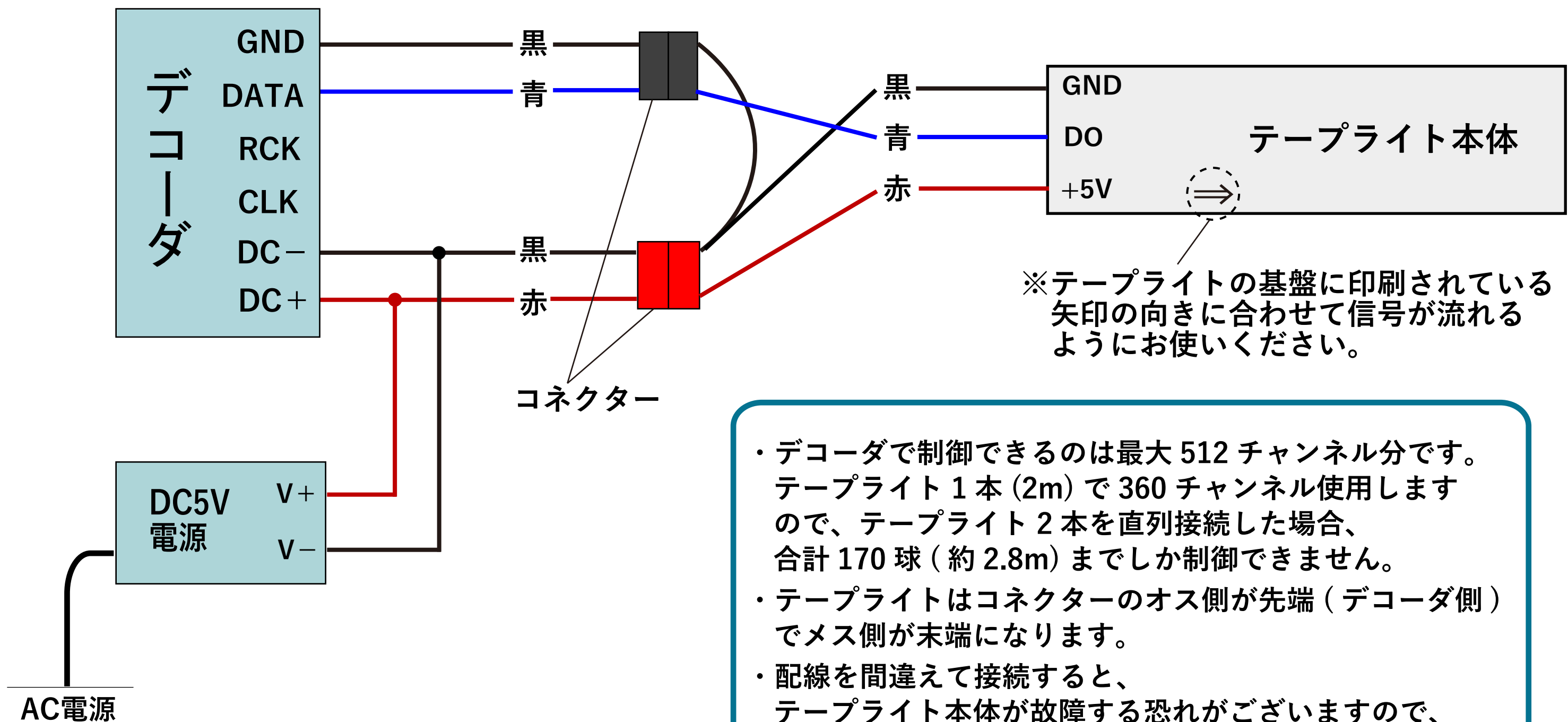


# SPI 対応テープライト（5V 1 球 1 アドレス）と DMX-SPI デコーダ（R2）の配線・接続図



- ・デコーダで制御できるのは最大 512 チャンネル分です。テープライト 1 本 (2m) で 360 チャンネル使用しますので、テープライト 2 本を直列接続した場合、合計 170 球 (約 2.8m) までしか制御できません。
- ・テープライトはコネクタのオス側が先端 (デコーダ側) でメス側が末端になります。
- ・配線を間違えて接続すると、テープライト本体が故障する恐れがございますので、接続の際はご注意ください。
- ・テープライトはデコーダに対して並列接続が可能です。